

令和3年度

学生によるオレンジリボン運動

北海道登別明日中等教育学校 実施報告書



実施主体 虐退治(5回生キャリア課題探究 探究班)

実施内容 北海道から虐待をなくすためのワークショップ

①事前に取り組んだ内容

- ・虐待についての現状調べ(インターネット、書籍、フィールドワーク)
- ・ワークショップの企画(令和3年6月から)
- ・登別市役所保健福祉部子ども家庭グループ子ども相談室へのフィールドワーク、来校していただいたの準備(ワークショップの運営に関する相談)

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・ワークショップの企画・実施

内容も自分たちで考え、子ども相談室の方と相談しながら決めました。具体的な虐待事例を用いて、日常から虐待を見抜くにはどうすればよいか、対策予防をどのようにすればよいか、参加者が考えられるように工夫しました。参加者数は次の通りです。

7/15:文化祭(一般公開できず、本校生徒のみ)3セット合計約20人

10/7:5回生7人、10/22:4~5回生4人、11/6:3~5回生19人

文化祭後にオレンジリボンを知り、先生にお願いして活動に参加しました。10月と11月のワークショップでは、啓発グッズを使ってオレンジリボン運動を促進しました。

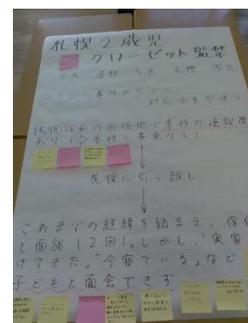
③オレンジリボン運動を終えて…

自分たちで「やりたい」と思っただけで始めた活動だったので、本気でやることができました。「自分たちがやりたい」から始めたことだったけれど、市役所の方は協力してくれたし、先生もオレンジリボンに応募してくれました。本気でやれば周りの人も協力してくれることが分かりました。

オレンジリボン運動について、「虐退治の活動を通して知った」や「ワークショップを聞いて知った」などの意見が多数あり、自分たちの活動を通してお役に立てたと思います。児童虐待防止推進月間だったため多くの方がリボンをつけてくれました。



7/15 文化祭



使用した模造紙



9/28 市役所の方と打ち合わせ



11/6 オレンジリボンをつけて